2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月4日

上場会社名　生化学工業株式会社　　上場取引所 東

コード番号　4548　URL https://www.seikagaku.co.jp/

代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名)水谷 建

問合せ先責任者　(役職名) 経理部長　(氏名)杉山 大輔　TEL 03-5220-8950

四半期報告書提出予定日　2023年8月9日　配当支払開始予定日　－

四半期決算補足説明資料作成の有無 ： 有

四半期決算説明会開催の有無 ： 無

(百万円未満切り捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

(1)連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	9,661	16.3	1,298	15.3	1,959	14.3	1,887	26.4
2023年3月期第1四半期	8,307	△29.5	1,126	△74.7	1,714	△62.8	1,493	△59.1

(注) 包括利益　2024年3月期第１四半期　3,048百万円 (41.0%)　2023年3月期第１四半期　2,162百万円 (△54.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	34.62	－
2023年3月期第1四半期	26.62	－

(2)連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	77,067	69,555	90.3
2023年3月期	75,625	67,216	88.9

(参考)自己資本　2024年3月期第1四半期　69,555百万円　2023年3月期　67,216百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	－	13.00	－	13.00	26.00
2024年3月期	－				
2024年3月期(予想)		13.00	－	13.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,550	△2.7	100	△95.3	1,550	△49.5	1,450	△35.2	26.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※　注記事項

(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：　無

(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　有

（注）詳細は、『添付資料』P.8「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　無

② ①以外の会計方針の変更　：　無

③ 会計上の見積りの変更　：　無

④ 修正再表示　：　無

(4)発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	56,814,093株	2023年3月期	56,814,093株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	2,273,029株	2023年3月期	2,273,029株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	54,541,064株	2023年3月期1Q	56,105,055株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

上記予想は、本資料の発表日現在において想定できる経済情勢、市場動向などを前提として作成したものであり、今後様々な要因により、予想と異なる結果となる可能性があります。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算補足説明資料は、2023年8月4日より当社ウェブサイトに掲載しています。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
(1) 経営成績に関する説明 …… 2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
(3) 研究開発活動 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
(1) 四半期連結貸借対照表 …… 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
(継続企業の前提に関する注記) …… 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) …… 8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) …… 8
(セグメント情報) …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第１四半期連結累計期間（2023年4月1日～2023年6月30日）の売上高は、ＬＡＬ事業における海外販売や関節機能改善剤ジェル・ワンの販売数量の減少があったものの、ロイヤリティーの増加に加え、中国向けアルツや国内医薬品の販売数量増により、前年同期と比べ16.3％増の9,661百万円となりました。

営業利益は、増収の一方、海外子会社等の販管費の増加により増益幅が縮小し、15.3％増の1,298百万円となりました。経常利益は14.3％増の1,959百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、26.4％増の1,887百万円となりました。

<u>セグメント別の売上概況</u>

＜医薬品事業＞

・国内医薬品（3,312百万円、前年同期比11.7％増）

関節機能改善剤アルツは、競合品からの切り替え施策が奏功し、医療機関納入本数は増加しました。当社売上高は、薬価引き下げの影響があったものの出荷数量増により増加しました。

関節機能改善剤ジョイクルは、出荷時期の調整により、当社売上高が減少しました。なお、本剤は2021年6月1日に安全性速報（ブルーレター）を発出しており、引き続き、販売提携先である小野薬品工業株式会社と連携のうえ、副作用報告等の情報収集や安全性に関する情報提供を積極的に行っています。また、専門家や医療機関等の協力を得ながら、原因究明に向けた臨床研究を実施しました。今後は、得られたデータを分析し、より適正使用に繋がる提案を継続検討していきます。

眼科手術補助剤オペガン類は、高齢化に伴う市場の成長基調に加え、競合品の限定出荷の影響により、医療機関納入本数は増加しました。当社売上高は、薬価引き下げの影響があったものの出荷数量増により大幅に増加しました。

内視鏡用粘膜下注入材ムコアップは、販売提携先の在庫調整により、当社売上高は減少しました。

腰椎椎間板ヘルニア治療剤ヘルニコアの医療機関納入本数及び当社売上高は前年同期並みとなりました。

・海外医薬品（2,324百万円、同30.0％増）

米国における単回投与の関節機能改善剤ジェル・ワンは、2022年7月に行われた保険償還制度変更の影響により、現地販売本数及び当社売上高は、減少しました。

5回投与の関節機能改善剤スパルツＦＸは、保険償還制度変更に伴う市場環境の変化により、現地販売本数は増加しました。当社売上高は、出荷時期の調整や円安により増加しました。

中国向けアルツは、前年同期に新型コロナウイルス感染症の再拡大に伴う主要都市でのロックダウンにより、受診率が低下した反動を受け、現地販売本数は増加しました。当社売上高は、前年同期に包装資材の変更に伴い出荷がなかったことから、大幅に増加しました。

・医薬品原体・医薬品受託製造（835百万円、同14.0％増）

医薬品原体の増加や、海外子会社ダルトン ケミカル ラボラトリーズ インクの医薬品受託製造等の円安効果により増加しました。

これらに加え、ロイヤリティー（699百万円、同－％）の増加により、医薬品事業の売上高は7,172百万円（同30.7％増）となりました。

＜ＬＡＬ事業＞

国内販売は前年同期並みであった一方、海外子会社アソシエーツ オブ ケープ コッド インクは、円安効果はあったものの、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う特需が収束し、売上高は2,488百万円（同11.7％減）となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第１四半期において、利益面がすでに2023年5月12日に公表しました通期予想に達していますが、海外医薬品及びＬＡＬ事業の減収に加え、腰椎椎間板ヘルニア治療剤SI-6603の承認申請に向けた費用が見込まれるため、同連結業績予想からの変更はありません。

※ 2024年3月期連結業績予想の為替レートは、第2四半期以降、対米ドル130円を前提としています。

(3) 研究開発活動

当社グループは、世界の人々の健康で心豊かな生活に貢献するために、専門分野とする糖質科学に特化して、独創的な医薬品等の創製を目指しています。

当社が保有する糖質科学に関する基盤技術を応用展開し、既存領域における新規開発テーマや新規疾患領域を含む革新的な研究テーマの創出に注力するとともに、各種アライアンスを推進することで、今後の事業成長の鍵を握る新薬の早期かつ継続的な上市の実現を図っていきます。

当第１四半期連結累計期間における研究開発費の総額は、1,738百万円で、対売上高比率（ロイヤリティー除く）は、19.4％となりました。

研究開発活動の主な進捗状況は、以下のとおりです。

・SI-6603（腰椎椎間板ヘルニア治療剤、開発地域：米国）

2023年3月に第Ⅲ相臨床試験の追加試験における経過観察が終了し、同年5月に主要評価項目において統計学的に有意な改善効果を示すトップライン結果を取得しました。今後、早期の承認申請に向けた準備を進めていきます。

SI-6603は、コンドリアーゼを有効成分とし、椎間板内に直接注射する治療剤です。全身麻酔の必要がなく、手術療法と比較して身体的侵襲が小さいという特徴を有しています。1回の投与で腰椎椎間板ヘルニアの症状改善効果が期待できることから、新たな治療選択肢の提供を目指します。

・SI-614（ドライアイ治療剤、開発地域：米国）

2023年6月に有効性と安全性の評価を目的とした第Ⅲ相臨床試験の経過観察が終了し、現在、取得したデータの解析を行っています。

SI-614は、当社独自の技術を活用してヒアルロン酸に疎水基を導入した両親媒性高分子の物質であり、同剤を点眼することで涙液層安定化作用と創傷角膜治癒促進作用によりドライアイの諸症状を改善することが期待されます。SI-614の開発を通じ、ドライアイ治療の新たな選択肢を提供することを目指します。

・SI-449（癒着防止材、開発地域：日本）

2020年5月より実施している消化器外科領域におけるピボタル試験において、2023年7月に主要評価項目である術後癒着の有無及び副次評価項目である癒着の程度・範囲において、統計学的に有意な癒着防止効果を示す結果を取得しました。また、安全性についても、顕在化した問題は認められませんでした。

なお、適用範囲の拡大を目的とした婦人科領域におけるパイロット試験において、安全性と操作性に大きな問題は認められませんでした。今後、両試験で取得したデータの詳細解析及び販売提携先の選定の後、承認申請を目指します。

SI-449は、当社独自のグリコサミノグリカン架橋技術を用いて創製したコンドロイチン硫酸架橋体を主成分とする粉末状の医療機器です。水分を吸収し膨潤する特性を有しており、撒布後に手術創部と周辺組織の間でバリアとなることで、外科手術における術後癒着の防止効果が期待されます。本テーマは国内のみならず、グローバル展開を視野に入れて開発を進めていきます。

その他の研究開発活動については、重要な変更はありません。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第１四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,451	20,260
受取手形	59	57
売掛金	6,349	8,550
有価証券	5,327	5,440
商品及び製品	3,469	3,088
仕掛品	2,698	2,645
原材料及び貯蔵品	3,303	3,567
その他	2,123	2,102
貸倒引当金	△73	△68
流動資産合計	46,710	45,643
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	20,471	20,510
減価償却累計額	△14,912	△15,039
建物及び構築物（純額）	5,559	5,471
機械装置及び運搬具	22,660	22,763
減価償却累計額	△20,536	△20,659
機械装置及び運搬具（純額）	2,123	2,104
土地	1,064	1,068
リース資産	103	117
減価償却累計額	△37	△43
リース資産（純額）	65	73
建設仮勘定	1,593	2,251
その他	5,801	5,856
減価償却累計額	△4,883	△4,951
その他（純額）	918	905
有形固定資産合計	11,325	11,873
無形固定資産		
のれん	2,094	2,070
その他	1,136	1,096
無形固定資産合計	3,231	3,166
投資その他の資産		
投資有価証券	13,232	15,242
退職給付に係る資産	853	870
その他	280	277
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	14,358	16,382
固定資産合計	28,915	31,423
資産合計	75,625	77,067

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第１四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	879	1,096
短期借入金	300	300
リース債務	37	37
未払金	3,315	2,113
未払法人税等	36	19
賞与引当金	624	314
環境対策引当金	113	114
その他	1,392	1,398
流動負債合計	6,699	5,394
固定負債		
リース債務	52	57
繰延税金負債	1,513	1,915
資産除去債務	36	36
その他	106	106
固定負債合計	1,709	2,116
負債合計	8,408	7,511
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,840	3,840
資本剰余金	5,301	5,301
利益剰余金	53,975	55,154
自己株式	△2,279	△2,279
株主資本合計	60,837	62,016
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,033	4,057
繰延ヘッジ損益	△14	－
為替換算調整勘定	2,937	3,081
退職給付に係る調整累計額	423	399
その他の包括利益累計額合計	6,379	7,539
純資産合計	67,216	69,555
負債純資産合計	75,625	77,067

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　2022年4月 1日 至　2022年6月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2023年4月 1日 至　2023年6月30日）
売上高	8,307	9,661
売上原価	3,622	4,477
売上総利益	4,684	5,183
販売費及び一般管理費		
人件費	680	780
賞与引当金繰入額	89	83
退職給付費用	26	25
研究開発費	1,687	1,738
その他	1,074	1,257
販売費及び一般管理費合計	3,558	3,885
営業利益	1,126	1,298
営業外収益		
受取利息	5	29
受取配当金	154	179
為替差益	415	437
投資有価証券売却益	4	－
その他	13	17
営業外収益合計	592	664
営業外費用		
支払利息	1	0
支払手数料	1	0
その他	1	1
営業外費用合計	4	3
経常利益	1,714	1,959
税金等調整前四半期純利益	1,714	1,959
法人税、住民税及び事業税	243	93
法人税等調整額	△22	△22
法人税等合計	221	71
四半期純利益	1,493	1,887
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,493	1,887

（四半期連結包括利益計算書）

（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　2022年4月 1日 至　2022年6月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2023年4月 1日 至　2023年6月30日）
四半期純利益	1,493	1,887
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△288	1,024
繰延ヘッジ損益	△81	14
為替換算調整勘定	1,010	143
退職給付に係る調整額	28	△23
その他の包括利益合計	668	1,160
四半期包括利益	2,162	3,048
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,162	3,048
非支配株主に係る四半期包括利益	－	－

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

税金費用については、当第１四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、見積実効税率に係る法人税等調整額は、法人税、住民税及び事業税に含まれております。

（セグメント情報）

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自 2022年4月1日　至 2022年6月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額（注）
	医薬品	ＬＡＬ	計		
売上高					
国内医薬品	2,965	－	2,965	－	2,965
海外医薬品	1,788	－	1,788	－	1,788
医薬品原体・医薬品受託製造	732	－	732	－	732
ロイヤリティー	1	－	1	－	1
ＬＡＬ	－	2,819	2,819	－	2,819
顧客との契約から生じる収益	5,488	2,819	8,307	－	8,307
その他の収益	－	－	－	－	－
外部顧客への売上高	5,488	2,819	8,307	－	8,307
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	5,488	2,819	8,307	－	8,307
セグメント利益	227	899	1,126	－	1,126

（注）セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自 2023年4月1日　至 2023年6月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額（注）
	医薬品	ＬＡＬ	計		
売上高					
国内医薬品	3,312	－	3,312	－	3,312
海外医薬品	2,324	－	2,324	－	2,324
医薬品原体・医薬品受託製造	835	－	835	－	835
ロイヤリティー	699	－	699	－	699
ＬＡＬ	－	2,488	2,488	－	2,488
顧客との契約から生じる収益	7,172	2,488	9,661	－	9,661
その他の収益	－	－	－	－	－
外部顧客への売上高	7,172	2,488	9,661	－	9,661
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	7,172	2,488	9,661	－	9,661
セグメント利益	971	327	1,298	－	1,298

（注）セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。